

☆ 6月の太陽・月の時刻表と月齢

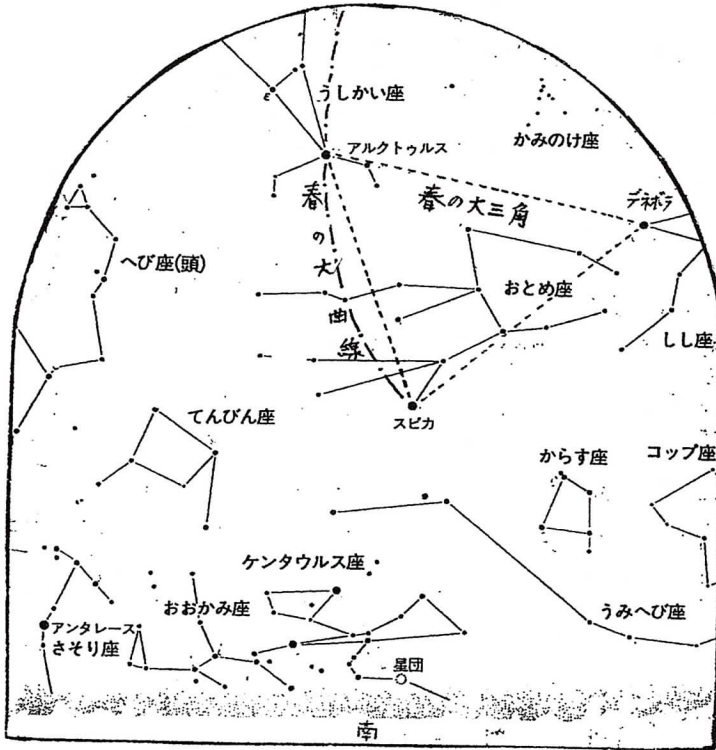
※下の表は黒石市役所での日の出・日の入・月の出の時刻と、午後9時の月齢と形を表したものです。(30秒未満は切り捨て、30秒以上は繰り上げ)

日	日の出	日の入	月の出	月齢と形	日	日の出	日の入	月の出	月齢と形	日	日の出	日の入	月の出	月齢と形
1	4:08	19:03	5:00	2.0 ●	11	4:05	19:10	15:18	12.0 ○	21	4:06	19:13	—:—	22.0 下弦☾
2	4:08	19:04	5:47	3.0 ●	12	4:05	19:10	16:34	13.0 ○	22	4:06	19:13	0:12	23.0 ●
3	4:07	19:05	6:40	4.0 ●	13	4:05	19:11	17:34	14.0 ○	23	4:06	19:14	0:34	24.0 ●
4	4:07	19:05	7:39	5.0 ●	14	4:05	19:11	19:13	15.0 満月○	24	4:06	19:14	0:57	25.0 ●
5	4:06	19:06	8:40	6.0 ●	15	4:05	19:11	20:25	16.0 ○	25	4:07	19:14	1:21	26.0 ●
6	4:06	19:07	9:43	7.0 ●	16	4:05	19:12	21:26	17.0 ○	26	4:07	19:14	1:49	27.0 ●
7	4:06	19:07	10:47	8.0 上弦☽	17	4:05	19:12	22:14	18.0 ○	27	4:07	19:14	2:21	28.0 ●
8	4:06	19:08	11:51	9.0 ○	18	4:05	19:12	22:52	19.0 ○	28	4:08	19:14	2:59	29.0 ●
9	4:05	19:09	12:57	10.0 ○	19	4:05	19:13	23:23	20.0 ○	29	4:08	19:14	3:43	0.4 新月●
10	4:05	19:09	14:06	11.0 ○	20	4:05	19:13	23:48	21.0 ○	30	4:09	19:14	4:35	1.4 ●

月の図は白い部分が光っているところ、黒い部分が欠けているところを表しています

月も地球も動いている関係で、月が出る間隔は平均して約24時間(1日)と51分くらいです。よって、前日の深夜かなり遅く出れば、その日は出なくて、次の日の深夜かなり早い時刻に出ることになります。(今年の「夏至の日」は6月21日ですが、日の出がもっとも早いのはそれより1週間くらい前で、日の入りがもっとも遅いのは、それより1週間くらい後です。)

南の星空



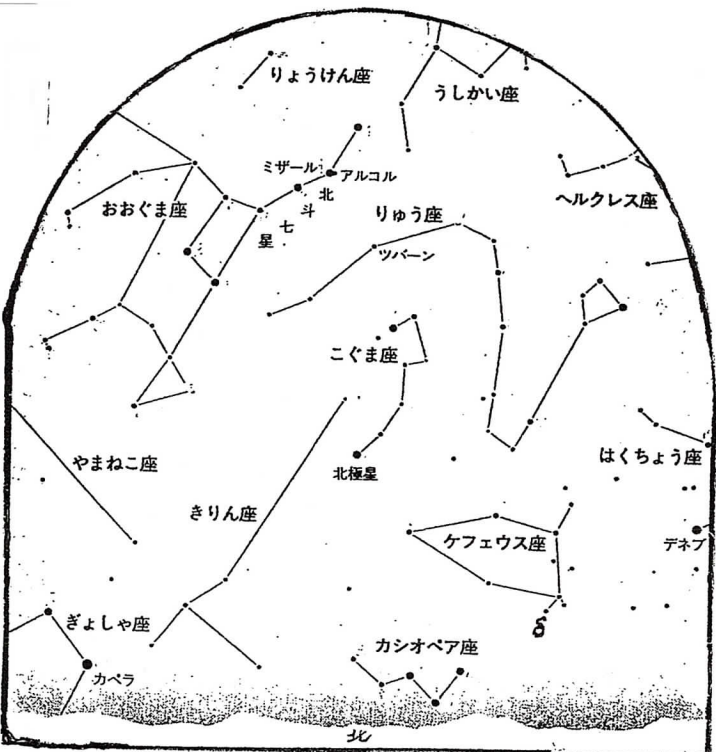
先月の夕食後のころは、南東方向の空にいたおとめ座が、真南よりやや西側に移って、たいへん見やすいところになりました。南の空に向かって右隣のしし座に近い方が乙女の頭にあたり、全体として寝ているような形に見えます。

おとめ座のスピカとうしかい座のアルクトゥルス、それに、しし座のデネボラの三つを結んでできる三角形を「春の大三角」と言うのは先月も書きました。

なお、アルクトゥルスは北斗七星のスプーンの柄を伸ばしたところにあり、その線をさらに伸ばしたところにスピカがあって、他の星座をさがすのにたいへん役立ちます。

月はじめは 21時ころ
10日前後は 20時20分ころ
20日前後は 19時40分ころ
月まつは 19時ころ

北の星空



北極星を含むこぐま座の小さなスプーンが高くなり、おおぐま座の北斗七星が北西に向って降りてきました。その2つの間に長い尾をのばしているのがりゅう座です。尾から胴、そして、四角の頭まで大きく曲がりながら続いているのがたいへんよく分かります。

また、ケフェウス座のδと書かれている星は、約2日半ごとに明るさが4等から5等まで変わる変光星です。